

液化室だより

東大物性研究所 <http://www.issp.u-tokyo.ac.jp/labs/cryogenic/>

柏キャンパスでの高圧ガス管理について

柏キャンパス内では、高圧ガス(寒剤、ボンベ、製造設備等)の一括管理※1をしており、下記のルール等に従って使用する必要があります。原則として東京大学高圧ガス管理規定を遵守し、それぞれのキャンパスの管理マニュアル(柏キャンパスの場合、柏キャンパス高圧ガス管理マニュアル)に従った管理をすることになっています。最近、ボンベの未登録など、ルールを理解していない行動が見受けられます。今一度ルールを確認し、正しく安全にボンベを取り扱って下さい。

1) 高圧ガスを使用するには、必ず指定の講習会※2を受講する。

【重要】研究室責任者や共同利用等で一時的に利用する者も必ず受講する。

2) 高圧ガスボンベは、物性研究所低温液化室を通して購入、返却等を行う。

ボンベは、右図にあるように、在庫品と特注品として管理している。

購入等は、柏キャンパス独自の管理システム※3を使用して行う。

3) 高圧ガス製造設備を設置する場合には「変更許可申請」等が必要である。【重要】必ず事前に、物性研究所低温液化室に相談すること。

【高圧ガスの製造(変更許可等が必要)になる事例】

- ① ボンベから圧力調整器を使って1MPa以上のガスを装置等に供給する。
- ② 圧縮機等を用いて、1MPa以上の圧縮ガスや液化ガスを装置等に供給する。
- ③ ボンベ等のガスを何らかの方法で液化する。

4) その他

高圧ガスの取扱には十分注意し、使用前やレギュレータ取付の際に漏洩検査をする等、安全に配慮する。また、1) 可燃性ガスの周りには、燃える物などを置かない、2) 毒性ガス等を使用する際には、シリンダーキャビネット等の除外設備を設置する、3) 減圧弁や圧力計、ガス検知器など、設備等の点検を定期的に行う、といった対策を講じる。

※1 部局毎の管理ではないので、他キャンパス等から実験に来る人も柏キャンパスのルール(管理)に従った取扱をする必要があるので注意する。

※2 指定の講習会 <http://www.issp.u-tokyo.ac.jp/labs/cryogenic/lecture/index.html>

※3 高圧ガスボンベ管理システム(Gas Cylinder Management System)

<http://www.issp.u-tokyo.ac.jp/cryogenic/cylinder/>

問い合わせ [E-mail:ekika@issp.u-tokyo.ac.jp 内線:63515]

